

# 津軽白神

# ふれあい通信



林野庁  
東北森林管理局  
津軽白神森林生態系  
保全センター  
平成 28 年 2 月 8 日  
No.116

## ニホンシカ巡礼山行 — 後編 —

専門官 有本 実



① 戦場ヶ原 2010. 5. 3

シカの食害によりニッコウキスゲやシラネアオイが激減してしまった、栃木・群馬県境にそびえる日光白根山。南東側の山麓には、約 400ha に及ぶ広大な高層湿原の戦場ヶ原①と小田代原が広がっています。残雪の山々と草原の織りなす景観はどこか日本離れしていて、日光を観光する方には一押しです。



② 入口の回転扉 2010. 5. 3

さて①の写真、シカの被害地の近くにしては、草も生い茂っているし特に問題ないのでは？と感じられるでしょうが、実はここ、環境省で湿原丸ごと一周を「シカ進入防止柵」で囲っているのです！湿原内に入る際には、写真②のような嚴重な扉をくぐり抜けていきます。扉付近には超音波でシカを遠ざける装置が設置され、柵は川の水面上にまで張られる徹底ぶりです。



③ 柵外のシカの群れ 2010. 5. 4

柵の外側はというと・・・戦場ヶ原を訪れた翌日、すぐ南に位置する中禅寺湖の千手ヶ浜付近を散策していると、林内に突然ドドドッ！と十数頭のシカの群れが現れて焦りました③。立木には知床同様、食害防止用の網が巻かれており、林床は金華山同様、草本類がほとんど食べ尽くされています。戦場ヶ原の過剰かと思えるほどのシカ対策、ここで深く納得しました。

\* \* \*



④大峰山脈(弥山からの眺望) 2006. 8. 4



⑤オオヤマレンゲの保護柵 2006. 8. 4



⑥柵外の状況 2006. 8. 4

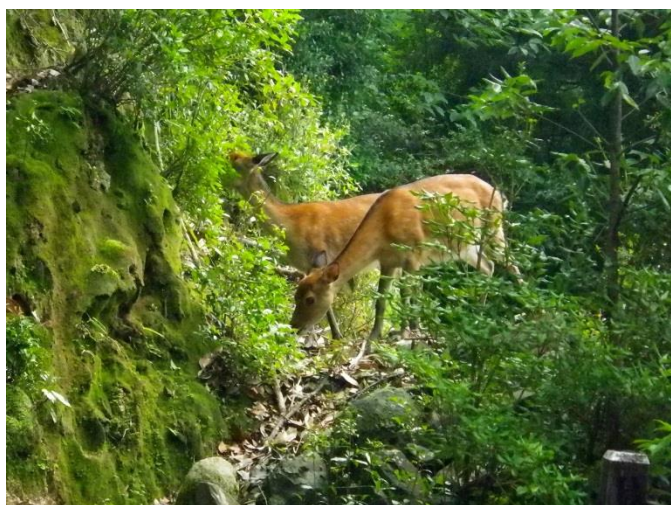
シカが多い場所、たとえば真っ先に思い浮かぶのが奈良公園でしょう。次にご紹介するのは、奈良県南部のど真ん中に南北に連なる大峰(おおみね)山脈です。吉野から熊野に至る主稜線の登山道は、修験道「大峯奥駈道」として世界文化遺産に登録されています。私が縦走した時には、早朝に山上ヶ岳(未だに女人禁制です)から法螺貝の音色が響きわたり、修行中の本物の山伏にも出会いました。長丁場でアップダウンが激しく、なるほど修行するには絶好の場所です。

この山域、遠目に眺めれば白神山地を彷彿とさせる山深い景観④ですが、林内に目を向ければシカの食害が相当目立ちます。紀伊半島の最高峰・八経ヶ岳の北面に天然記念物「オオヤマレンゲ」の自生地がありますが、食害防止用の柵で保護されていました⑤。柵の外側は皆さんご

想像の通り、シカの口が届く範囲の植物はほとんど食べられてしまい、林床は毒草のバイケイソウを残してゴルフ場の様なありさまです⑥。あれから約10年、今はどうなっているのでしょうか・・・いつかまた自己鍛錬がてら訪ねてみようと思います。

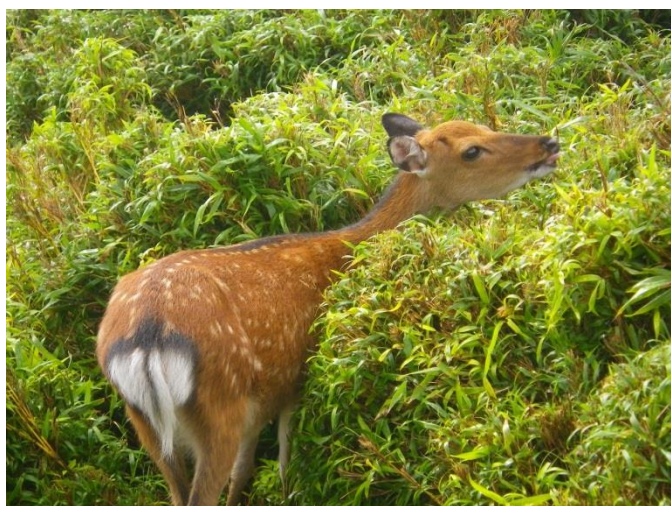
\* \* \*

最後にご紹介するのは、白神山地と同時に世界自然遺産登録された、ご存じ屋久島です。島の北東部・楠川の海からスタートして、九州最高峰の宮之浦岳に登って南西部・栗生の海でゴール！という行程で島を横断したのは5年前の夏のこと。



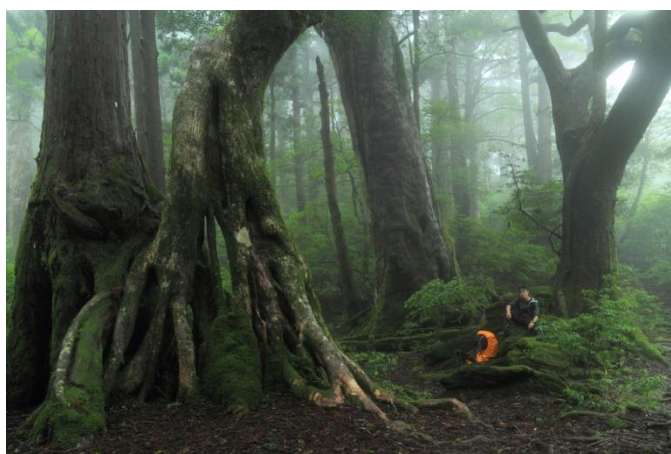
⑦ 白谷雲水峡付近 2011. 8. 14

海岸から楠川歩道(屋久島では登山道の事を「歩道」と呼びます)を辿り高度を稼いでいくと、まずは白谷雲水峡付近で数頭のヤクシカに出会いました⑦。本州産に比べて一回り小さく、見た目はかわいいのですが…縄文杉に向かう途中の大株歩道では、日帰りハイカーのあまりの多さに圧倒されましたが、そんな賑やかな中でも度々シカを目撃しました。そして標高1800mに達する宮之浦岳の北方稜線上では、ヤクシマダケ(ヤクザサ)を摂食中のシカを間近に観察しました⑧。照葉樹林帯から亜高山帯まで、どこにでもいるという印象を受けます。



⑧ 宮之浦岳付近 2011. 8. 16

島の南西側を下る花山歩道では、シカに加えて沢山のヒルの襲撃を受けました。シカにくっついて勢力を拡大させたのでしょうが、あまり気分の良いものではありません。ただこの花山歩道、今回歩いたルートの中では最も景色が良く、しかも巨木だらけで⑨、個人的には縄文杉よりお薦めです！



⑨ 花山歩道 2011. 8. 17

ヤクシカによる被害状況は、屋久島森林生態系保全センターのHPで多くの写真とともに解説されています。広報誌「洋上アルプス」とあわせて、是非そちらもご覧下さい。

\* \* \*

前回から合計6箇所ご紹介しましたが、いかがでしたか？ 全箇所が国立公園で、かつ国有林で、場所によっては世界遺産地域でもあり公有地や民有地も入り交じっているので、シカの激害地では関係機関の総力戦で被害

防止対策に乗り出しています。ここ白神山地でも環境省・林野庁・青森県・秋田県等で構成される「白神山地世界遺産地域連絡会議」で横の連携を強化し、シカの捕獲に向けた具体策を検討しているところです。(終)

# 白神山地の巡視・業務状況について報告

## 第2回白神山地世界遺産地域巡視員会議（青森側）開催

1月24日（日）西目屋村において今年度2回目となる巡視員会議が開催されました。



### 白神山地の適切な管理に向け議論されました

この巡視員会議は、白神山地世界遺産地域（青森県側）に関連する行政機関（環境省・林野庁・青森県・鱒ヶ沢町・深浦町・西目屋村）の今年度事業の報告、白神山地巡視員の巡視状況、巡視結果等について報告が行われるものです。

当日は各行政関係者と巡視員55名が出席し行われました。

ニホンジカ対策についても議論がなされ、監視強化を行うこととなった26年度から目撃情報が増加し続けている

ことなどから、科学委員会の助言を得て来年度から捕獲に向けた具体的な対策を講じていくことが報告されました。（久保）

### 編集後記

▼前号No.115 発行後に読者の方から「ニホンジカ被害の恐ろしさがわかる内容だった」とうれしいおハガキをいただきました。

本紙に関するご意見、「これについて知りたい」というご要望がありましたら、電話やFAXおハガキでお寄せいただくと嬉しいです。

今後は本紙を手にとってくださる方々に、白神山地をはじめとした森林に関する情報をわかりやすくお伝えできるよう作成できればと思います。

（担当：久保）

